

を密にしていきたい。

六次産業化635万円委託料について

答 委託料の内容は、一つは、地域の農産物や農産物加工品の開発と販路開拓を行い、地域商社としてふるさと公社を位置付け、販売と販路開拓を伸ばす事業である。

二つ目の消費者理解増進対策事業は、放射線影響対策を含めて、当市の安心安全の農産物を首都圏等の友好市町村に販売促進し、当市農産物の理解を深め各フェアに参加する事業である。

今年度の六次産業化の進捗状況は。

答 基礎調査を踏まえ、ふるさと公社の組織体制や経営体制・財務体質を見て持続可能な地域商社としての体制の検証を行い、計画を作成し事業執行をしていく。今年度は、ふるさと公社の体質強化として中小企業診断士を入れ諮っていく。

地域商社としての

答 採草用モアール1台の修繕費である。

モアールの値段は。

答 モアールの値段は、日本製が、稼働面積の実績は、1300万円の外国製で稼働面積は270haとなっている。

270haの稼働で故障するような機械ではないと思われるが、取り扱ひ上に問題がなかったのか。

答 目的は無料で使えるWi-Fi環境であり、観光地情報も発信

遠野ローカルベンチャー事業の今後の展開は

問

遠野ローカルベンチャー事業の、要となっている地域おこし協力隊制度の内容について改めて伺う。

答

大都市圏から過疎地域に生活拠点を移して、地域おこし活動をしながら定住を促進する取り組み。隊員一人当たりの活動経費は年間四百万円で、国から特別交付税で10割支援される。

問

去る9月1日に、地域おこし協力隊員として採用した10名に辞令が交付されたが、今後どのような活動に取り組むのか。

答

ビール・発酵・地域の可視化・低コスト住宅・遠野デザイン・多世代交流・遠野の食の7つのプロジェクトに取り組み。それぞれのプロジェクトは、地元の様々な取り組みを行

ふるさと公社の位置付けは。

答 この事業は地方創生の推進交付金であり、地域商社の核となる機関・団体を位置付けることが条件である。ふるさと公社が主体的役割を担うことは発足当時から、変わったものではなく地域貢献、第1次産業、6次産業の役割を担うことに変わりはない、次のステップに向かうための事業である。

市営牧野管理事業費の増について

答 同機械の作業場所特定による故障の防止と、今後の購入にあたっては、作業効率にこだわることなく、圃場条件にあった機械の選定に努めていく。

Wi-Fi環境整備事業費について

答 Wi-Fi環境整備の内容は、

答 国交省の交付金を活用して、観光に訪れる外国人向けにWi-Fi環境を市内7か所の観光地に整備するものである。

答 ネットアクセスのためか、市内の観光地の案内についてはどうか。

答 目的は無料で使えるWi-Fi環境であり、観光地情報も発信

よるものではなく、圃場条件である傾斜地や起伏の多いところでの故障と聞いている。

圃場条件という理由は成り立たない。条件に見合った機種の設定が重要である。今後の管理方針について伺う。

答 同機械の作業場所特定による故障の防止と、今後の購入にあたっては、作業効率にこだわることなく、圃場条件にあった機械の選定に努めていく。

オール遠野で観光まちづくり推進事業費について

答 伊能嘉矩生誕150年の取り組みは、

答 岩手県台湾訪問ミッションに職員を派遣し、観光・物産調査、伊能嘉矩の業績調査を行った。特別展開催に向け資料の借用、講師の派遣依頼、観光面でのエージェントとの情報収集、物産の輸出に向けた打ち合わせ等を行っている。また、県の観光パンフレットで取り上げられるよう、県南振興局を通じて働きかけている。

答 伊能嘉矩台湾友好交流実行委員会の構成は、

答 遠野市、遠野市観光協会、遠野商工会、遠野ふるさと公社、株式会社遠野、遠野市教育文化振興財団、岩手県で構成する。再度台湾へ調査に向かう予定である。

防災教育推進事業費について

答 防災教育パネルはどこに展示するものか。

答 現在の資料館のパネルは遠野市の後方支援活動が主であり、そのほかに建設業協会、社会福祉協議会、まごころネット、文化財レスキュー等の活動のパネルを作製し展示して

伊能嘉矩について



台湾人類学者 慶応3年(1867)〜大正14年(1925) 岩手県遠野生まれ。東京帝国大学の坪井正五郎から人類学を学び、明治28年(1895)台湾に渡り、10年間先住民の調査研究を行う。遠野に帰ったからは、台湾研究を進めるかたわら、柳田國男や佐々木喜善、ネフスキーなどの民俗学者と交流し、『遠野物語』の成立にも影響を与えた。台湾研究の大家『台湾文化志』は、現在も国際的に評価が高い。



後方支援資料館の内部の様子

仮設の資料館を本設にする考えは。

答 将来的には膨大な資料を皆さんにお見せする常設の資料館を考えている。このような資料館は観光化してきており、利用者も多くなっている現状であることから風の丘も本設の場所に考えている。

現在の資料館は大人向けであるが、子どもや女性向けの展示についての考えは。

答 小学4年生の感想文に「災害の大変さを改めて考えました」と書いており、本設においては大事なことを考える。今後、展示や表示の仕方を考えていく。

問

遠野市が今年5月に行った隊員募集には、仮申込に500名近くの方が、東京と名古屋で計3回開催した説明会には175名の方が、そして最終的には80名の方から本申込みがあったということだが、採用人数を増やす考えはないか。

答

遠野に魅力を感じながら、そして活躍の場を求めて、多くの方々が応募して来たのは、まぎれもない事実で嬉しいが、冷静にとらえた時、地域の方々や地元で頑張っている方々と、どの様にうまく連携を図り、お互いがより良くなるためには、一方においては手堅くという思いもあり、今回は10名に落ち着いた。だが次の展開なり可能性については否定する訳ではなく、これから関係者と議論をかわしていく。



浅沼 幸雄 議員

(政和クラブ)

一問一答方式

その他の質問

- 地域経営改革について



地域活性化のキーマンとして期待される地域おこし協力隊の皆さんへの辞令交付の様子

地域おこし協力隊員の採用人数をもっと増やしては